

- 岩手県陸前高田市では、被災事業者等が今泉地区に津波補助金を活用して商業施設を整備するため、「陸前高田市まちなか再生計画」を変更し、国に認定を申請。
- 入居を希望する被災事業者等が、商業施設を整備運営する「まちづくり会社(株式会社醸(カモシー))」を設立(令和元年6月21日)。
- 商業施設には7店舗が入居予定(令和2年11月開業予定)。「発酵」をテーマに味噌、醤油のほかビール、パン、総菜などを販売。イートインスペースを設け施設内での飲食も可能。



陸前高田市まちなか再生計画の変更の検討状況

1. 土地利用計画に関する状況

- 陸前高田市震災復興計画（平成23年12月）では、今泉地区は低地部が津波の浸水を免れるように高さを確保することを基本に、区画整備による住宅街、商業ゾーン等コンパクトな市街地の形成を図りながら、歴史文化が薫る新しいまちなみの再生を図ることとしている。
- 味噌・醤油の製造販売を営んでいた(株)八木澤商店の土地を活用し、商業施設を整備する予定。
- また商業施設の北側には、歴史的建造物の復元（吉田家住宅（大庄屋屋敷））や(株)八木澤商店の味噌工場の整備を予定。



震災前の吉田家住宅（大庄屋屋敷）



今泉地区の再生イメージ
(陸前高田市震災復興計画)

2. 公共施設等配置計画に関する状況

- 今泉地区では保育所や小学校、コミュニティセンターが整備されている。

3. 動線計画・駐車場整備計画に関する状況

- 今泉地区から中心市街地や陸前高田ICへのアクセス道路や橋梁（姉歯橋、今泉大橋）が整備計画されている。
- 消費者を呼び込むため、中心市街地の商店街（アバッセたかたなど）や道の駅高田松原（9月22日開業）との連携が課題となっている。
- 駐車場は、エリアの中心部に整備するとともに、各施設にも整備予定。

4. 商業施設整備計画に関する状況

- 商業施設は、まちづくり会社（株式会社醸）が建物を所有し、個々のテナントに賃貸。賃料を概ね4,500円～6,000円/月坪※¹の範囲内とし、持続性の高い事業環境を提供する予定。
※¹ 被災中小事業者 4,500円/月坪、中小事業者 5,000円/月坪、大企業 6,000円/月坪
- 「津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金（商業施設等復興整備補助事業：民設商業施設整備型）」を活用して整備予定。
- 商業施設の建築面積約189坪、整備費約1.4億円、木造平屋。
- 入居テナント：物販、飲食店等7店舗を予定。

表 入居予定テナント

	業種	企業種別
1	チョコレート工房	非被災中小
2	発酵キッチン	非被災中小
3	発酵食堂※	被災中小
4	発酵セレクトショップ※	被災中小
5	エネルギー販売所	大企業
6	クラフトビール	非被災中小
7	パン屋	非被災中小

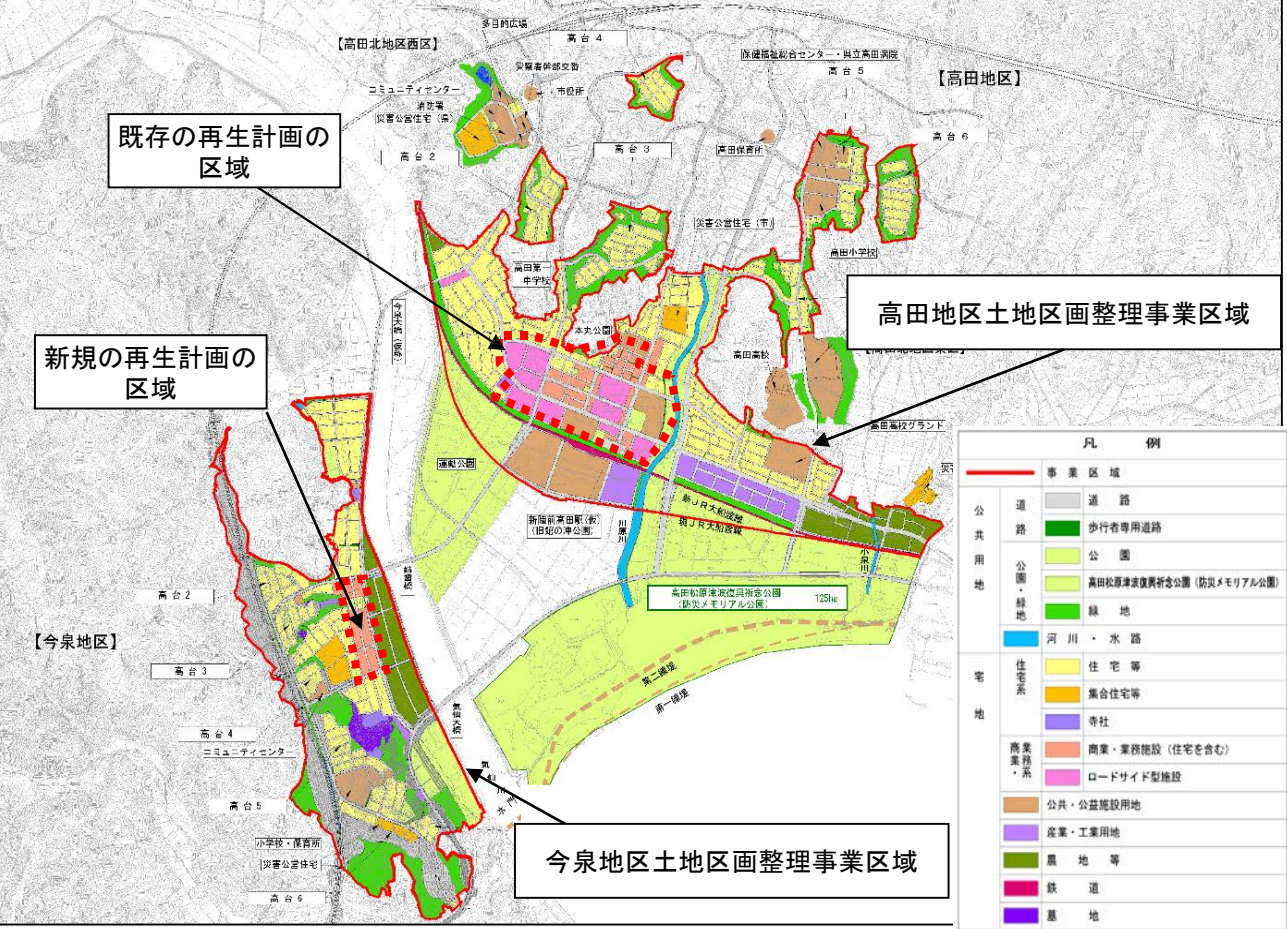
※は同一事業者

5. 事業実施体制に関する状況

- 出店予定者が出資・設立したまちづくり会社（株式会社醸）が、商業施設を整備・運営予定。

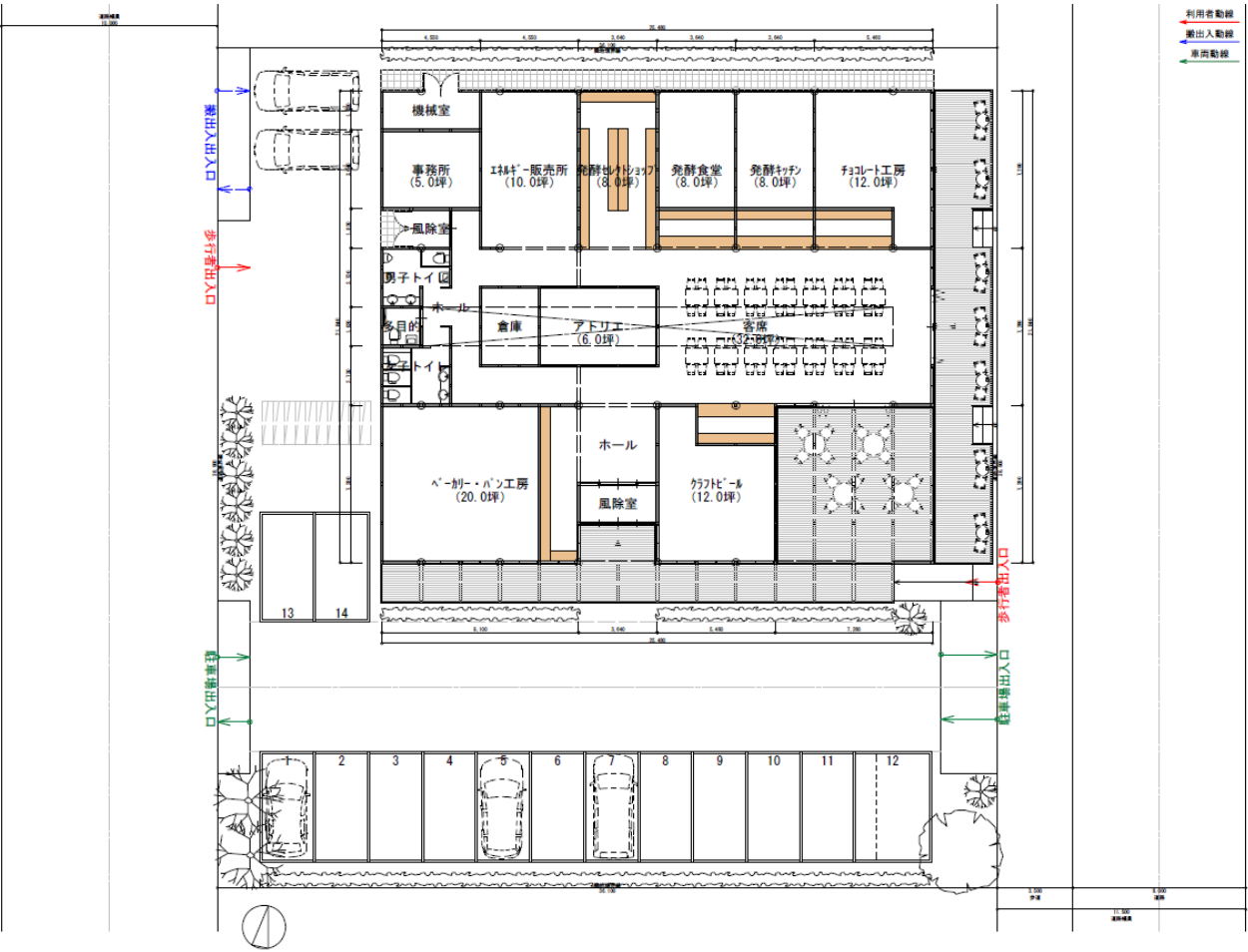
陸前高田市まちなか再生計画の変更について②

まちなか再生計画の対象区域の位置

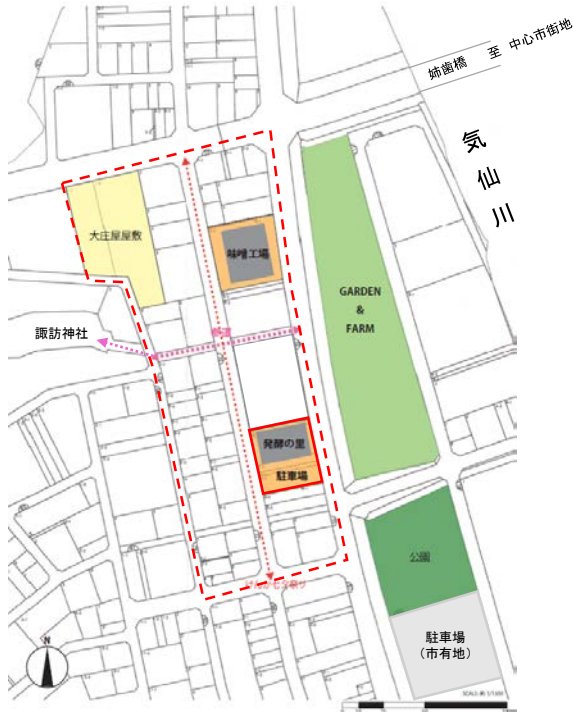


(出展:平成25年11月 陸前高田市都市計画課資料)

商業施設配置図 (テナント型商業施設)



商業ゾーン



商業施設整備予定地 (R1年6月18日撮影)



商業施設外観イメージ

